



手良小学校  
だより

# きらら

令和5年  
12月18日  
No.10



←詳細は  
学校HP  
どうぞ

## 親子で力を合わせて…第27回「PTA親子ふれあいトンカチ教室」



手良地区建設労働組合、手良活性化促進会議、手良公民館、手良地区子ども会育成会の各団体よりご支援をいただき、12月9日(土)に「PTA親子ふれあいトンカチ教室」が行われました。

親子で力を合わせて一つのものを作り上げていく貴重な体験の場でもあり、また子どもたちにとって地区の方々とふれあう場としてたいへん貴重な機会となっています。



今年度制作したものは「小物置き」。今までにないコンパクトなサイズで、食卓の上に置いて調味料入れ、各種リモコン入れに使うなど、いろいろな場所で活躍しそうです。

おうちの方がしっかりと板を支え、切りで開けられた穴を手掛かりに慎重に釘を打つ子どもたち。仕

上げは校長先生に「手良小学校」の焼き印を希望するところに押しもらって完成。素敵な作品ができました。

今年はインフルエンザの感染予防のために、恒例の完成集合写真は撮りませんでした。一人ひとりできた作品を抱えて記念撮影をしました。



## 「支援」から「協働」へ、「お手伝い」から「当事者」へ…手良の子どもを守り育てる会

手良地区の各団体の代表の皆様が一堂に会して今年度2度目の「手良の子どもを守り育てる会」が開催されました。

はじめのごあいさつでは会長である公民館長様から、これから目指したいコミュニティ・スクールについての提言がありました。日本の学校は、子どもの安心・安全を守りつつ、全ての子どもが均等に教育を受けられるよさがあります。その一方でドイツ、フランス、フィンランドのように、多様な大人のいるコミュニティの中で、自ら活動を選び主体的に取り組むという点ではまだまだ、というお話でした。

また、地域と学校の関係は「支援」「お手伝い」というイメージがありますが、これからは「協働」「当事者」という関係を大切にしたい、そのために大人の意識改革が必要、というお話でした。

また、校長からは今後の「協働的な活動」として、これまでの活動や今後の活動等の説明、依頼などの



話がありました。子どもたちが地域の方から学ぶことの価値はもちろん、参加する地域の方も「活動の楽しさを味わう」「自己実現できる場」「生きがいを感じる」そんな場になってほしいという話がありました。

後半は3~4人グループで、

【裏面に続きます】

これからの手良小・手良地区のつながりや関わりについて討議がなされ、最後に出された意見を全体で共有しました。

「地域と学校それぞれでやっている取り組みを一緒にできないか？」

「喜びそうだからと、子どものために大人が企画するのではなく、子どもが進んで参画する場を設けて、子どもたち主体の活動にして、子どもが活躍し大人が支える活動にしたい」

「手良の秋まつりで活躍した中学生のボランティア、それぞれの地区でも活躍できそう」

「共に盛り上がるニュースポーツの場を大切にしたい」

「手良に住んでいる子が将来離れていく。手良の魅力を知らぬままに大人になってほしくない」

「地域の歴史、地域の企業などを生かし、『職業体験』的な活動があってもいい」

など、たくさんの意見が出されました。

会長さんのおまとめの言葉のなかに「手良の大人の生きざまにふれ、地域のよさを感じられるようにしたい」とありました。

アフターコロナのこれからの取り組み。新たな一歩のきっかけとなる会となりました。

## 心に残る1冊と出会おう！…冬の読書旬間

夜の時間が長く、家にこもることが多くなるこの時期に、本に親しみ、豊かな心を育もうと読書旬間を実施しました。

期間中、読み聞かせボランティアのみなさんによる「読み聞かせの会」が行われました。

低学年の部では、はじめに子どもが両腕を広げたぐらいの幅広い大きな絵本の読み聞かせがありました。「きょうりゅうのおおきさ」という絵本でした。人類誕生前の恐竜の世界についてその大きさを実感し、時には歓声を上げながら楽しく聞かせていただくことができました。



その他にも紙芝居や、食べ物の2つの違いを発見するクイズ形式の絵本で楽しむなど、ボランティアのみなさんとの楽しい時間があっという間に過ぎていきました。各学年では、その感動を忘れないうちにお礼の手紙を書きました。

2年生のお手紙から…

- ・読み聞かせをしてくれてありがとうございます。『あひるの王さま』が楽しかったです。また読んでください！
- ・いろいろな本やかみしばいを読んでくださり、ありがとうございます。ぼくが一番おもしろかったのは『あひるの王様』です。あひるがきつね、はち、川のみこんで、やくだって、さいごは王さまがかんむりをおとしてそれをひろって「あひるの王さま」と言っているのがおもしろかったです。『大きなきょうりゅう』もどんどん大きくなっているところがすてきでした。すてきなこえでありがとうございました。

6年生のお手紙から…

- ・私が一番心に残った本は、『ほかほかスープ』です。理由は、一文一言言うときに、表情などを変えて読んでいて、一生懸命読んでいるんだなぁ、と思ったからです。どの本もとてもおもしろかったし、新しい本に出会えてうれしかったです。来てくれてありがとうございます。
- ・すてきな読み聞かせ、ありがとうございます。私は『ついてくる』が心に残りました。最初に「あなたはこんな体験したことがありますか？」と聞いているのに、最後はうれしいの子どもの話だったのが、とてもおもしろかったです。久しぶりに絵本を見ましたが、とてもおもしろかったです。
- ・今年も読み聞かせ、ありがとうございました。これで「お話の部屋」で読み聞かせを聞くのも最後だと思うと、少しさびしくなっていました。個人的に一番心に残ったお話は『あひるの王さま』です。最初は王様の金のむだづかいがひどいことから始まり、最後さるかに合戦のようになり、まさかのあひるが王さまになるという意外な終わりかたで、びっくりしました。読み方もいろいろ工夫がされていて、とてもいんしょう的でした。